

【JBA創薬モダリティ基盤研究会会員、JBA法人会員、JBA個人会員（アカデミア）限定】



JBA創薬モダリティ基盤研究会

糖鎖改変による抗体機能強化と 今後の技術展望

開催日時：2024年10月18日（金）13時15分～14時40分
セミナー形式：MS-teams（定員120名）

主催：（一財）バイオインダストリー協会
創薬モダリティ基盤研究会

座長：津本 浩平 氏
（創薬モダリティ基盤研究会副会長
東京大学大学院工学系研究科教授）

講師：真鍋 史乃 氏

（星薬科大学薬学部 教授）



抗体-薬物複合体（antibody-drug conjugate, ADC）は、抗体の課題を改良するための手法として期待されるとともに、現在多くのADCの臨床開発が進展しています。真鍋先生は、有機合成化学の視点から、糖鎖連結ADCの研究、世界最大の糖鎖均一抗体ライブラリーの作製、等を進められ、高付加価値ADC、バイオシミラー・バイオベター創製のための基盤構築研究の最前線で活躍されています。今回は、ADC研究の現状から今後の技術展望まで、ご講演いただきます。

MS-teams：JBAホームページよりお申し込みください。

締切：2024年10月15日（火）17時

お問合せ：（一財）バイオインダストリー協会
（担当：渡邊、北嶋、岸本、瀬下）